

## 令和6年度 第1回 飛島村総合計画審議会 議事録

日時:

令和6年7月9日(火)10:00~11:04

場所:

飛島村役場2階 第3会議室

出席委員:21名(順不同・敬称略)

会 長 三浦 哲司(名古屋市立大学 人文社会学部 准教授)

副会長 小島 進(区長会 会長)

委 員 奥田 誠(商工会 会長)

委 員 伊藤 正樹(商工会 青年部 部長)

委 員 伊藤 富久美(商工会 女性部 部長)

委 員 村上 雅之(土地改良区 理事長)

委 員 多田 裕美(教育委員 代表)

委 員 犬飼 敏光(老人クラブ 会長)

委 員 平野 宗治(民生委員・児童委員協議会 会長)

委 員 渡辺 良和(社会福祉協議会 会長)

委 員 久野 聖二(代理 消防団 副団長)

委 員 日野 昌彦(海部南部消防組合 総務課長)

委 員 浅井 舞(飛島保育園 父母の会 会長)

委 員 串田 舞依子(第一保育所 親の会 会長)

委 員 門野 堯子(ボランティア団体 代表)

委 員 井田 洋子(あいち海部農業協同組合 飛島支店長)

委 員 柿内 賢治(代理 名古屋港西部臨海工業地帯企業連絡協議会 事務局長)

委 員 宮澤 文明(名古屋港管理組合 企画調整室 担当課長(調整担当))

委 員 森 雅貴(中日新聞 蟹江通信局 記者)

委 員 佐野 徹(副村長)

幹 事 加藤 光彦(飛島村長)

幹 事 萩野 登記代(教育長)

幹 事 加藤 義彦(総務部長)

幹 事 山田 由樹(開発部長兼経済課長)

幹 事 福谷 晶(民生部長)

事務局 早川 宗徳(総務部次長兼企画課長)

伊藤 幸丈(企画課係長)

上田 雄介(企画課係長)

欠席者:1名

【議事録】

1. あいさつ

村長

2. 議 事

(1)第5次飛島村総合計画及び第2期飛島村地方版総合戦略の概要について

(事務局より資料に基づいて説明)

【質疑応答】

\*三浦会長:

説明ありがとうございました。それでは、皆さんから質問や事実関係の確認、総括部分について分かりにくいところなど、補足説明が欲しい箇所や、意見等をいただければと思う。地方創生という流れの中で、地方版総合戦略を作成することとなっている。今回は、その2回目の地方版総合戦略ということで、第2期として作成をしている。また、最近では、飛島村が消滅可能性自治体から外れたという新聞記事もあった。

－質疑応答なし－

(2)第5次飛島村総合計画及び第2期飛島村地方版総合戦略の総括について

(事務局より資料に基づいて説明)

\*三浦会長:

ありがとうございました。総合計画では、福祉や環境等の様々な分野について定めている。総合計画や総合戦略は作成するが、いつまでに達成していくかについては、KPI等を用いて管理をしている。委員からご質問があれば、お願いしたい。

\*三浦会長:

資料4にあった3-①の「生涯学習・生涯スポーツを充実させる」の「村内イベントの参加者」が、R5年度の目標値に対して、R5実績値が大幅に上回っているが、その理由は何か。

⇒事務局:

資料6の47ページの実施計画にある行動計画を策定した時は、コロナの影響もある時期で、目標設定が低かった可能性がある。このことが理由として考えられる。そのため、今回、資料6として提出する実施計画では、このことを加味した担当課とのヒアリングを

踏まえて行動計画の設定を改めて見直している。

\*三浦会長：

ありがとうございます。当初の行動計画が、コロナを踏まえて設定している等の理由ということで理解した。実績を踏まえて、また今回、担当課とのヒアリングを踏まえて行動計画を見直しているということも理解した。

(2)第5次飛島村総合計画及び第2期飛島村地方版総合戦略の一部変更について

(事務局より資料に基づいて説明)

\*三浦会長：

ありがとうございます。委員の皆さんからご意見、ご質問等があればお願いしたい。先程の事務局の説明にあった、観光に関する「ひまわり畑」のうまくいかなかった例について、うまくいかなかったので、事業をしないという選択を飛島村はした。このことをどう捉えるかである。行政の場合は、うまくいかないことについても、成果が出るまで継続することがある。しかしながら、飛島村の場合は、トライしたことに対して、うまくいかないことについて、事態が深刻化する前に、事業中止という判断をとった。このことは、無駄な税金の投入を回避したという考え方もできる。役に立たない事業を廃止するという考えも必要であり、社会情勢等を踏まえて、計画を修正することはとても必要なことである。

\*村上委員：

資料5にある「ひまわり畑」の「新」ということはどういうことか。

⇒事務局：

令和5年度の新規事業として実施したということである。

\*村上委員：

資料6の2ページ、3ページにある「土地改良事業等助成事業」についてであるが、排水機場の有事への対応について、村としても進めていただいているが、対応が遅すぎると思うが、いかがか。

⇒開発部長：

排水機場の有事の対応について、土地改良区と調整をした上で、マニュアルを確認している。即時に対応をできるように、訓練の実施を考えている。職員も対応ができるように、土地改良区と協力をして実施をしていく。

\*村上委員：

排水機場が稼働しなくなれば、生活への影響はとても大きいと思うので、有事への対応力の観点からも考えていく必要がある。

⇒開発部長：

役場職員も協力体制ができるように努めていきたい。

\*村上委員：

資料6の32ページに電気自動車について記述があるが、公用車への対応と思われるが、電気自動車については、充電設備等の問題が考えられるが、いかがか。

⇒総務部長：

総合計画の中では、環境対応車の導入として考えている。電気自動車を始め、プラグインハイブリット等も含めて考えている。電気自動車への対応については、住民への対応としての充電設備もあり、これらのことについても、社会情勢等を踏まえた上で考えていきたい。また、環境対応車の導入についても、社会情勢等を踏まえて検討をしていきたい。

\*柿内委員代理：

資料4の7ページに記載のある「特定健診受診率」については、0.5%が足りないということであるが、どのような周知をされているのか。

もう1つは、総合計画の中で人口問題は、どのように考えていくのかをお聞きしたい。

⇒民生部長：

国民健康保険の対象者に対して実施している。広報4月号に掲載し、周知をしている。対象者には、申込書の発送時にも、周知をしている。また、保健だよりを発行しており、10月と3月に掲載をしている。未受診者については、勧奨はがきを用いて、7月、9月に2回実施しており、対象者に周知をしている。周知をしているものの、40代、50代の受診率が低くなっている。実施方法については、毎年6月にすこやかセンターにて特定健診を実施している。

⇒事務局：

第5次総合計画では、4,800人程度を目指している。新規住宅地開発を始め、182の実施計画を進めることで、この数値を維持していきたいと考えている。

\*三浦会長：

特定健診について、40代や50代が受診できていないとのことであるが、その理由は何か。

⇒民生部長：

国民健康保険の対象者に対して実施しており、40代や50代の層は、まだまだ動けることから、健康であるという認識で、受診率が低いのではないかと担当課は捉えている。

### 3. その他

\*事務局：

今後もこの審議会は、毎年1回の開催とし、各事業の進捗、評価等についてご報告し、ご審議をお願いする予定をしている。開催時期については、来年度を予定している。

**\*三浦会長：**

今後も、年1回、この審議会にて報告、審議していくこととなる。他に特になければ、進行を事務局にお返りする。円滑な進行にご協力いただきましてありがとうございました。

**\*事務局：**

三浦会長、ありがとうございました。

また、委員の皆さまにおかれましても長時間の審議、ありがとうございました。これをもって、令和6年度・第1回総合計画審議会を閉会する。お帰りの際は、交通事故等に気をつけてお帰りください。ありがとうございました

**4. 閉 会**

以 上